

## 平成25年度 第2回 大学運営連絡会議事要旨

日 時 平成25年5月14日（火） 10時30分～11時32分

場 所 本部2階大会議室

出席者 学長，瀬口理事，中島理事，岩本理事，宮崎理事，川上監事，福本文化教育学部長，平地経済学部長，酒見医学部副学部長（医学部長代理），林田工学系研究科長，渡邊農学部長，諸泉全学教育機構副機構長，稲岡附属図書館長，遠藤教養教育運営機構長，事務局長

欠席者 濱崎医学部長，永田海洋エネルギー研究センター長

陪席者 大島学長補佐

○ 学長から，前回の大学運営連絡会議事要旨の確認依頼があった。

### 【 検討事項 】

#### (1) 平成25年度「地（知）の拠点整備事業」の公募について

学長から，文部科学省が平成25年度から実施する本事業について，事業の趣旨等の説明があった。

次いで，五十嵐産学・地域連携機構地域連携部門長から，本申請に向けて，学内に検討ワーキンググループを設置し検討したこと，公募要領のポイントとその対応について，また，留意点として，特別経費・G P・大学間連携事業等の既存（現行）プログラムとの重複申請はできないこと，ガバナンスを含んだ「全学的な取り組み」が必要であること等の説明があった。さらに，教育カリキュラムの再編やシラバスに地域志向型の教育を明示する必要があること，自治体，地元，教育機関との連携が重要であること等を踏まえ，西九州大学との共同申請となること，採択となれば，「佐賀の地」拠点整備推進委員会（仮称）や「佐賀の地」学生フォーラム（仮称）を設置予定であること等の説明があった。

#### (2) その他

特になし。

## 【 報告・連絡事項 】

### (1) 美術館設置事業の募金状況等について

総務課長から、5月13日現在の美術館設置事業の募金状況について、教職員、個人・学外、法人・団体など寄附者の内訳、金額及び募金率等の報告と、今後とも各部局等において協力いただきたい旨の依頼があった。

### (2) 全学委員会の見直しについて

総務課長から、教員の教育研究時間の確保、負担の軽減及び会議の進め方の標準化を図ることなどから、学長室で各種委員会のあり方及び類似の委員会の統合等について検討してきたことについて、平成24年度の見直しの現状及び今後の取組の報告があった。

学長から、今後も、各種会議の際は、事務局等で資料（データ）を整理・準備し、スムーズな会議運営に努めて欲しい旨の依頼があった。

### (3) 大学改革実行プランの対応について

企画評価課長から、今後、策定予定である佐賀大学改革プランのうち最も重要と思われる教育改革について、各学部・各学科等の現状を把握し改革の方向性を模索するとともに全学の改革の方向性との整合を図るためヒアリングを行うこと、意見交換予定のテーマは「教育の質保証」と「入試改革」であること、実施時期は平成25年6月～7月であること、その参加者等について、文化教育学部と理工学部については複数回実施すること等の説明があり、あわせて協力依頼があった。

学長から、本件は、教育改革を中心に行うものであるが、将来展望にも発展するものであることから、各部局等へ理解・協力願いたい旨の発言があった。

### (4) 平成25年度第1回拡大役員懇談会における議論の概要について

学長から、本件について、4月17日に開催された拡大役員懇談会の議論の内容について、その概要の報告があった。

### (5) 平成25年度評価反映特別経費（業務の評価）に係る評価項目の設定について（案）

学長から、本件について、各理事室と協議の上、教学（教育）、学術（研究）、社会貢献（地域・国際貢献）、運営基盤のそれぞれの事項について、それらの評価項目を設定したことの報告があった。また、項目に挙げられた理由やKPI（キーパフォーマンス・インディケーター）の重要性、その趣旨等について具体例を基に説明があった。

(6) 平成25年度科学研究費助成事業採択状況について

研究協力課長から、本件について、昨年度と比較し、採択件数（新規＋継続）は1件増、採択金額（新規＋継続）は15,993千円減、申請件数（新規＋継続）は43件減であったこと、また、各部局ごと・研究種目別の採択状況等について、さらに、国の予算は若干増えていることから、今回の本学の結果は良いものではなかったため、今後の積極的な取組が必要であること等の報告があった。

(7) その他

特になし。

【 各学部等からの報告・連絡事項 】

- 文化教育学部長から、今年度の大学院教育学研究科入試の日程について、教員採用試験等との関係から、試験時期を変更したため、平日に実施すること等について、理解と協力をいただきたい旨の依頼があった。

学長から、入試委員会において、適宜検討してほしい旨の発言があった。

【 その他 】

- 大学評価に関する作業イメージ（時系列編）

学長から、大学評価に関する作業イメージ（時系列編）について、評価関係の流れに関する説明があった。原則として、中期目標・中期計画実施本部会議にて作業を行うものであるが、これまで部局等で対応していた「自己点検評価書」や「教育活動等調査報告書」が部局等によって不統一であったため、今後の課題として、一本化・標準化・評価書取りまとめの早期化・学内ルールの見直し等を行い、全学的な方向性がわかるものにしたいこと、また、部局等の先生方の負担軽減になるよう改善に努めたい旨の発言があった。

- 入学者選抜機能の検証と改善

学長から、入学者選抜機能の検証と改善について、入試改革に向けて入試課が作成したものであること、今後、学内会議の場で意見交換する資料とすること、各学部等から課題を抽出したものであり、選抜機能の強化を検討する際に実態の把握に活用いただき、ご意見をいただきたい旨の発言があった。

以 上